

報告事項

平成21年度教科指導力向上のための県外教員との交流事業について

平成21年度教科指導力向上のための県外教員との交流事業について、別紙のとおり報告します。

平成21年12月18日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

平成21年度教科指導力向上のための県外教員との交流事業について

高等学校課

1 事業の概要

高い専門性と教科指導力を有し、優れた授業実践を行っている県外の教員を招き、県内教員との実践的な授業研究をとおして互いに切磋琢磨し合うとともに、教科指導力の向上及び生徒の学力向上に関する研究協議を行う。

2 実施状況（3教科合計参加者 131名）

		国 語	数 学	英 語
実 施 日		11月20日	12月1日	11月27日
会 場 校		米子東高校	倉吉東高校	鳥取東高校
県外授業者		香山 真一 (岡山操山高校)	佐藤 誠 (松江北高校)	西 巖弘 (広島市立舟入高校)
県内参加校数		12校	14校	15校
参加者数	県内	29名	44名	31名
	県外等	5名	17名	5名

3 内 容

- (1) 国語：米子東高校教員による研究授業及び香山 真一教諭による示範授業の後、研究協議を行う。
- (2) 数学：倉吉東高校エキスパート教員による研究授業及び佐藤 誠教諭による示範授業の後、研究協議を行う。
- (3) 英語：鳥取東高校エキスパート教員及び西 巖弘教諭による参加者を対象とした模擬授業の後、研究協議を行う。

4 参加教員の感想（抜粋）

「こころ」というスタンダードな教材を用いて、こんなにもさまざまな授業ができるんだと目から鱗が落ちた思いです。今回の研修で、マンネリ化していた自分の授業に新しいヒントをいただいたと思います。（国語）

初対面の生徒たちとの45分間の終りに、確かな印象を残された香山先生の魅力を強く感じました。授業展開法や別の教材観を知るといよりも、明確なメッセージを生徒に伝える授業実践に出会えたという意味で貴重だったと思います。（国語）

教材が授業のねらいに沿って大変工夫されており、力強さを感じました。問題を読み取ること、どのような技術を用いるかということ、生徒同士が考え合うことなど多様な要素があって大きな刺激を受けました。（数学）

よく考えられた題材で、グループ学習、そして発表と、新鮮な授業でした。本校でもやってみたいと思うとともに、自分の授業を振り返り、もっと生徒が輝く授業を考えねばと反省しました。（数学）

思考力を育てるのに、読むことや書くことを取り入れたスピーキングの言語活動を行うことが大切だと感じました。スピーキングの力を育てることで、様々な可能性が見えてくることを学びました。（英語）

日頃の自分の授業とは全く異なり、思いもつかない授業内容で戸惑いましたが、積極的にスピーキングを行う点などを取り入れようと思いました。（英語）

5 生徒を対象としたアンケート結果（抜粋）

教科 人数	アンケート項目	評価項目					
		5	4	3	2	1	
国語 35名	小説の構造の捉え方がよくわかった	34%	57%	9%	0%	0%	5 強くそう思う 4 そう思う 3 どちらとも言えない
数学 31名	授業に関心・意欲を持って取り組んだ	78%	19%	3%	0%	0%	2 あまりそう思わない 1 全く思わない